

市の宣言

- ◇男女平等参画都市宣言
- ◇非核平和都市宣言
- ◇青少年健全育成都市宣言
- ◇交通安全都市宣言

発行・町田市 編集・政策経営部広報広聴課広報係
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
町田市コールセンター☎042・724・5656



☎042・724・5600
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

携帯電話用QRコード

今号の紙面から

2面

秋の全国交通安全運動
町田市民交通安全フェスティバル開催

生活習慣病で医療費が増加
ストップ!メタボ

6面

自由民権資料館企画展
明治の学び舎

プラスチックごみ 資源化実験

現在、町田市廃棄物減量等推進審議会では、プラスチックごみを焼却せずに資源として有効利用し、地球温暖化の原因のひとつであると言われているCO₂の排出を減らすために、家庭から出るプラスチックごみの分別収集を検討しています。プラスチックごみを資源化するための課題を知るために、約3か月間、市内5地区約760世帯の方々にご協力いただき、硬いプラスチックと軟らかいプラスチックを分別収集する実験を行いました。また、容器包装リサイクル法に基づく資源化のために必要なプラスチックごみの圧縮実験を、33人の公募による市民の方の立ち会いのもとで実施し、圧縮時に発生するといわれている物質について分析を行いました。

審議会では、実験結果及びご協力頂いた皆さんの貴重なご意見を踏まえ、市民の立場に立ち、安全と安心を十分に配慮して、プラスチックごみ

市民の方に立ち会っていた
だき実験を行いました



収集実験から わかったこと

対象地区の方へのアンケートでは、回答者の96%という非常に高い割合の方から「実験に協力した」と回答いただきました。また、今後プラスチックごみの分別収集・資源化についても進めたほうが良いという回答が90%を越え、プラスチックごみの資源

結果を お知らせ します

化への期待の高さを伺うことができませんでした。しかし一方で、プラスチックごみの分別収集を進めるためには、分別の仕方、付着した食品汚れの水洗い、家庭内での保管場所の確保等いくつかの課題があることも明らかになりました。

圧縮実験から わかったこと

(1) 圧縮と温度
パッカー車(収集車)にプラスチックごみを詰め込む時や、プラスチックを圧縮する過程で懸念された発熱現象はみられませんでした。



圧縮時に発生する物質を測定しました

(2) 有害物質の発生について

圧縮実験では、軟質プラスチックと硬質プラスチックを混ぜた混合プラスチックから、燃料や塗料などに含まれている揮発性有機化合物と、樹脂の原料などに使われているアルデヒド類が微量検出されましたが、クロロホルムとトルエン以外の物質は国の定めた基準値を大きく下回っていました。

今回検出した微量の有害物質と、クロロホルムや基準の2倍程度検出されたトルエンは、いずれも他市の同様の施設でも検出される物質で、これらの物質は活性炭による吸着脱臭を行うことによって基準値以下にできることがわかっています。

で14.0% (基準値は18%)、トルエンは軟質で5.70%、混合で3.90% (基準値2.60%) となっています。
※µgはマイクログラム(100万分の1グラム)
混合プラスチックの場合、クロロホルムの値が突出して検出された原因としては、混合プラスチックごみのなかに漂白剤の容器があり、容器内に残った塩素系の薬剤が紙などと反応して検出した可能性があります。

(3) 軟質プラスチックと混合プラスチックの違い

軟質と混合プラスチックで実験は圧縮施設内だけでなく施設周辺でも採取を行いました。

(4) 圧縮施設周辺への影響

実験は圧縮施設内だけでなく施設周辺でも採取を行いました。

町田市総合防災訓練を実施しました



8月29日に行われた町田市総合防災訓練では、メイン会場となった鶴見川クリーンセンターで、市民や防災関係機関による様々な訓練を実施しました。そのほか、市内5校の小・中学校では避難所開設訓練、市内25か所ですみ自主防災組織による独自訓練が行なわれ、延べ約3800人が訓練に参加しました。ご協力ありがとうございました。

町防防災安全課 ☎724・2107

今年から郵送でも提出できます

国勢調査を 実施します



10月1日現在で、全国一斉に国勢調査を実施します。

国勢調査は、大正9年以降5年ごとに実施する国の基幹統計調査で、日本に住んでいるすべての人と世帯が調査対象です。

調査結果は、社会福祉、雇

用対策、生活環境の整備などに役立てられます。

9月下旬から、調査員が訪問して調査票を配布しますので、ご協力をお願いします。

提出方法は、封筒に封をして調査員に手渡していただくほか、郵送での提出も可能です。また、東京都では試行的にインターネットでの提出も選択できます。

調査票は厳重に管理され、集計後は溶解処分されます。

なお、調査員には守秘義務があり、写真付きの調査員証を携帯しています。

町田市国勢調査実施本部 (市政情報課) ☎722・7001

まちと自分を ★プロデュース

生き生きとした暮らしを作る
「コミュニティビジネスってなに？」

コミュニティビジネスシンポジウム開催

コミュニティビジネスへの理解を深め、担い手となる人材発掘や、市内のネットワークの構築を目的としたシンポジウムを開催します。

講演会では、ニート・フリーター・ひきこもりなどの若者政策論、NPOやコミュニティビジネスなどのコミュニティ政策論が専門の法政大学社会学部の樋口准教授を講師としてお招きします。

○日時 10月23日(土) 第1部 19時30分～21時30分、第2部 午後1時30分～4時、第3部 午後4時30分～6時

○会場 第1・2部 中央図書館、第3部 町田商工会議所

○内容 第1部 講演会、第2部 コミュニティビジネス事業者等によるパネルディスカッション、第3部 交流会

○定員 100人(申し込み順、第3部は40人)
○費用 第3部のみ500円
○申し込み 9月21日午後1時から電話で町田市コールセンター(☎724・5656)へ、またはFAXで住所・氏名・電話またはFAX番号・第3部交流会参加の有無を明記して、産業観光課(☎724・41185)へ。
町産業観光課 ☎724・2107